

日本初!! 「おくすりシート リサイクルプログラム」の実証実験が 横浜でスタートします!

この度、第一三共ヘルスケア株式会社（本社：東京都中央区）とテラサイクルジャパン合同会社（本社：神奈川県横浜市）が連携し、使用済の PTP シート（以下「おくすりシート」という）を回収、リサイクルする実証実験を、横浜市中区で開始します。

回収されたおくすりシートは、プラスチックとアルミニウムを分離後、各々リサイクル処理をし、新たな製品に生まれ変わります。

この事業は「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づき、市民や他の事業者のプラスチック問題への関心を高めることが期待できる、事業者の先進的な取組です。

横浜市としても、回収拠点の選定や広報啓発等にご協力をさせていただき、参加協力を働き掛けてまいります。

【実証実験の概要】

1 実施期間

令和4年10月20日（木）から令和5年9月30日（土）

※ 準備が整った施設から順次開始します。

2 回収場所

横浜市中区の一部の薬局、ドラッグストア、横浜市立みなと赤十字病院ほか

※ 詳細は「おくすりシートリサイクルプログラム」公式ホームページをご確認ください。

<https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/okusuri-sheet/>

3 回収物

使用済おくすりシート

（錠剤やカプセルをプラスチックとアルミニウムで挟んだシート状のもの）

※ ブランドは問いませんが、薬が残っているシートは対象外です。

4 検証内容

回収場所や回収量の実績調査、リサイクルに関する課題抽出、

おくすりシートや他の医薬品の捨て方に関する市民の意識や変化など



使用済みおくすりシート



回収 BOX

（裏面あり）

テラサイクルジャパン合同会社と横浜市との関わり

横浜市は、横浜に立地した外資系企業の定着を支援し、イノベーション創出や地元企業等との連携による新たなビジネス展開を促進しています。

テラサイクルジャパン合同会社（2001年に米国で創業。日本法人は2013年に設立。）については、同社のリサイクルプログラム等の取組を横浜市主催セミナーで紹介するなど、地元企業とのマッチング機会の提供等を通して、同社の横浜での活動を後押ししてきました。

また、同社には、地球環境や循環型社会に関する横浜市のセミナーなどにも登壇をいただいています。

【主な例】

- 横浜市（経済局）・IDEC 横浜主催
「米国企業紹介セミナー」（2021.8）で同社の取組を紹介
- 横浜市（米州事務所）主催
「グローバル・サステナビリティ・スタートアップ・ピッチ」
（2021.2）で同社の取組を紹介
- 横浜市立大学主催
「国際環境シンポジウム」（2021.3）に登壇



同社の取組を紹介するオンラインセミナー

お問合せ先			
(プラスチック対策の事業者との連携に関すること)			
資源循環局 3R 推進課長	津島 邦宏	Tel 045-671-2563	
(外資系企業の支援に関すること)			
経済局国際ビジネス課長	森井 藍子	Tel 045-671-2576	
(実証実験に関すること)			
第一三共ヘルスケア株式会社	森上 (もりかみ) ・上吉川 (かみよしかわ)	Tel 03-5255-6239	
(リサイクルに関すること)			
テラサイクルジャパン合同会社	藤原 亜希子	Tel 0120-371-842	